

**仙台市障害者就労支援センターはたらポート仙台
令和7年度事業報告書**

仙台市障害者就労支援センターの運営

仙台市における障害者の就労支援の中核として総合相談力を発揮し、就労支援ネットワークの充実を図るとともに、障害者の雇用の促進及びその職業の安定に資するため、「仙台市障害者就労支援センター指定管理者業務仕様書」に基づき、以下の業務を実施した。

【令和7年度事業実施にあたっての重点項目】

- (1) 連携協議会の立ち上げ～地域の支援力を「つなげる」～
- (2) センターの役割・機能への認知度向上～適切な支援へ「つなげる」～
- (3) 法定雇用率未達成企業への集中的な働きかけ～障害者雇用の理解へ「つなげる」～
- (4) 法人の総合力の発揮～法人の持てる力を「つなげる」～

【人員配置】

- 所長(常勤嘱託職員1名)
- 主任(正職員1名)
- 支援員(正職員2名、常勤嘱託職員5名)
- ICT 専門員(臨時雇用職員2名)

1) 障害者の就労支援に関する業務

現行の法制度や支援サービスでもなお就労ニーズが充足されていない障害者一人ひとりの相談支援を行うとともに、支援を通じて積み重ねた事例を整理・分析し、働きたい障害のある誰もが「必要な支援サービスを利用して就労できる地域づくり」に取り組んだ。

【総相談対応件数】

	障害者	移行支援事業 所等	企業等	合計
件数(延べ)	5,289 件 (4,338 件)	5,554 件 (5,828 件)	3,737 件 (3,547 件)	14,580 件 (13,713 件)

※ () 内は令和 6 年度実績

(1) 障害者に対する支援

- ① 障害者の就労に関する総合相談窓口の設置
就労を希望する障害者に対して、就職活動の情報提供や助言を行った。
 - 障害者に対する相談支援人数：600 人(延べ支援件数：5,289 件)
 - 「働きたい障害のある方向け説明会」の開催：毎月2回(参加人数：78 人)
- ② 個々の就労ニーズに応じたジョブマッチング支援
障害者一人ひとりの強みと企業とのジョブマッチングを支援した。
 - 総相談支援実人数 459 人の内、59 人は当センターで直接求職活動・転職活動の支援を行った。他 324 人には情報提供等により適切な支援機関に結びつける支援を行った(差の 76 人は定着支援のみの者)
 - 459 名の内、求職活動・転職活動の支援が 59 名、定着支援が 76 名(求職活動・転職

活動の支援を行った方は除外)を行っており、それ以外の 324 名は情報提供等の支援となっている。

○ 新規就労者数: 18 人(年度内定着率: 100%)

※求人コーディネートを活用した支援機関の利用者を含める

③ 職場定着に係る支援

雇用先職場でナチュラルサポート体制が整えられるよう支援した。

○ 対面や電話、メールによる定着支援: 83 人

○ 83 人の内、職場訪問による定着支援人数: 48 人(延べ支援件数: 170 件)

④ 法人の総合力を生かした就労支援

センターが行う障害者の就労支援において、家庭環境の変化等生活上の課題や体調面の変化への対応が必要な障害者には、ハンズ宮城野・ハンズ太白の障害者相談支援事業等当協会の総合力を発揮したサポートを行った。

(2) 市内就労支援機関の機能向上に係る取り組み

就労移行支援事業等の障害者福祉サービス事業所や、国や県が設置する障害者雇用支援機関、生活支援・教育・医療機関等と連携し、それぞれの支援機関の機能発揮を支援した。

① 市内の企業、就労系障害福祉サービス事業所、各種障害者就労支援機関等の関係機関が連携した協議会の事務局を仙台市とともに運営する取り組み及び仙台市全体における障害者就労支援体制の構築及び就労支援ネットワークの強化に係る取り組み

○ 「就労移行支援事業所等連絡会議」の開催: 6 回(内ワーキング: 2 回)

○ 仙台市とともに運営する協議会(以下、「連携協議会」)の立ち上げに向けての協議

○ 各支援機関が開催する企画・会議への参加

② 個々の就労支援機関における支援の実態把握及び必要な技術的援助

市内の就労移行支援事業所等の支援内容を把握し、技術的援助を行った。

○ 「施設からの一般就労移行状況等調査」の実施

○ 「就労支援サポート講座」の開催: 3 回(参加人数: 3 事業所・10 人)

○ 「ふれあいワークフェア・障害者合同面接会対策講座」

(ハローワーク仙台と共催)の開催: 2 回

※講義編: 就労移行支援事業所 12 事業所・支援者 15 人の参加

実践編: 面接員には企業等7社の協力 13 事業所・支援者 14 人及び利用者 23 人の参加

○ 「個別模擬面接会」の試行的実施: 1 回

③ 就労支援機関と企業とのつながりを推進する取り組み

就労移行支援事業所等支援機関と企業をつなげる取り組みを行った。

○ 「企業見学会」のコーディネート: 27 回(30 事業所・134 人)

○ 「企業実習」のコーディネート: 35 回(17 事業所・49 人)

○ 「就労移行支援事業所と企業との交流会」の実施: 24 回 16 事業所・12 社

④ 就労支援及び職場定着支援を円滑に進めるために有効な支援ツールの開発

センターが積み重ねた事例や就労移行支援事業所等連絡会議で出された意見、アンケート調査等から実践現場の課題を抽出し、その解決のために有効な支援ツールを開発した。

⑤ その他、就労支援機関の機能向上に必要となる取り組み

職場実習の機会拡大を目的に市役所各課公所等で実習を行う「仙台市障害者就労体験実習事業」(仙台市事業)を、仙台市と協働して実施した。

○ 仙台市障害者就労体験実習事業: 22 回

参加支援機関 17 事業所 参加者 30 名 受入れ実習先 15 か所

(3) 企業等の障害者雇用の主体となる団体に対するアプローチ

障害者雇用の経験が少ない企業に対して、障害者雇用への理解を啓発した。

① 雇用ニーズ及び雇用実態の把握

企業訪問・調査等の手法により、企業の雇用ニーズと雇用実態を把握した。

- アプローチした企業数：250社(延べ3,737回)

② 障害者の雇用に関する理解啓発

企業経営者・従業員に対して障害者雇用への理解を啓発するとともに、市民に対して障害者を雇用する企業への理解を促す取り組みを行った。

- 「仙台市障害者雇用促進セミナー(仙台市主催)」を
仙台市と協働して開催：4回(企業・関係機関延べ265者の参加)
- 「職場内の障害理解を深める勉強会」の実施：14回(11社・349人)
- 「障害者雇用経験がない企業と雇用している企業との交流会」の開催：5回12社
- 「就労移行支援事業所見学会」の開催：24回11社

③ 法定雇用率未達成企業等に対する障害者雇用促進に向けた取り組み

「企業雇用サポート専門窓口」を設置し、企業支援メニューの提案を行った。併せて、企業の求人情報を就労移行支援事業所等へ周知を行い、企業と支援機関利用者のマッチングを支援した。

- 「仙台市障害者雇用促進セミナー(仙台市主催)」を仙台市と協働して開催：4回(企業・関係機関延べ265者の参加)(再掲)
- 雇用プロセスコーディネート：求人周知39回、企業見学会27回、職場実習17回を経て年度内に7人、次年度に5人の採用

④ 雇用の継続や職域拡大に関する取り組み

- 雇用の継続は企業のナチュラルサポート形成に重点を置き、企業訪問による就労上の課題解決を支援する定着面談等により、企業の障害者雇用継続を支援した。
- 職域拡大は「仙台市障害者雇用促進セミナー」や「企業交流会」等を通じて、障害者雇を先進的に進めている企業の取り組みを紹介した。

⑤ 障害者が活躍する業種や業務の掘り起しを進めるための取り組み

- 起業家を支援する業務を行っている団体に対して、専門性を有する業務の創出を提案し、それに見合った障害者のマッチングを行い、就職に繋げた。
- 中小企業特有の状況を踏まえた業務の掘り起こしを検討し、中小企業を支援する団体と意見交換を行った。

⑥ その他、障害者雇用の促進に必要な支援等

- センター広報紙「働くネット」の発行：4回(各号企業約350社へ送付)

(4) センター独自の事業

① 障害者雇用について行政と一体となって取り組むために、仙台市役所、区役所の職員に対して「障害理解を深める勉強会」の開催などにより障害特性、障害者雇用に対する職員の理解を深める取り組みを行った。

② 「仙台市知的障害者会計年度任用職員に対するジョブコーチ支援業務」を円滑に推進するためにセンター職員が協力・援助を行った。

(5) 仙台市が実施する障害者雇用の推進に関する事業への協力

① 仙台市障害者就労体験実習事業への協力：22回(再掲)

② 仙台市障害者雇用促進支援セミナーへの協力：4回(再掲)

2) 施設の維持管理に関する業務

(1) 施設、設備、備品等の維持管理に関する事項

① 仙台市の所有に属する物品を適切に管理した。

② 仙台市が備え付ける備品等の保守点検を行った。

- ③ 廃棄物を適正に分別して所定の場所に搬出した。
- ④ 安全管理に十分配慮し、財産の保全、利用者・職員の安全確保に努めた。

(2) 防災に関する事項

地震、火災、風水害等の災害及び事故による傷病等に備えた。

- ① 「防災計画」を定めた。
- ② 「泉区内の土砂災害・洪水浸水ハザードマップ」を所内に掲示した。
- ③ 「仙台市シェイクアウト訓練」への参加：6月12日
- ④ 「泉区役所消防訓練」への参加：12月5日
- ⑤ 「法人合同防災訓練」の実施：3月11日

(3) その他の事項

- ① 「緊急連絡網」を整備して職員に配布した。
- ② 「緊急時連絡先一覧」を所内に掲示した。
- ③ センター所長を管理責任者及び防火責任者と定め、配置した。
- ④ 「施設賠償責任保険」及び「自動車保険」に加入した。

3) 管理業務に付随する業務

(1) 広報業務

リーフレットや情報誌、ホームページ等で情報を提供した。

- ① 「利用案内リーフレット」の配布
- ② 広報紙の発行：4回(再掲)
- ③ 「情報提供コーナー」の設置

(2) 人材の育成

業務上必要とされる研修への参加(主な参加研修)：

- 障害者の就労支援に関する基礎的研修
- ジョブコーチ養成研修
- 宮城県サービス管理責任者等基礎研修

(3) 利用者等の要望・苦情処理

利用者その他の市民からの要望、苦情等は迅速かつ適切に対応した。

- ① 「苦情解決制度についてのお知らせ」を所内に掲示した。
- ② 「苦情解決の仕組み」と「苦情等への対応策」をホームページに掲載した。
- ③ アンケート結果や苦情・要望内容を「苦情解決第三者委員会」へ報告した。

(4) 利用者等へのアンケートの実施

- ① 「ご意見箱」と「市長への手紙」の設置：通年
- ② センター利用者へのアンケート調査の実施：通年
- ③ 利用者アンケート強化月間を設定・実施：12月
- ④ 行事参加者へのアンケート調査の実施：随時
- ⑤ 法人全体の「利用者アンケート報告会」の開催：1月20日

4) 職員研修について

- ① 全職員研修の参加：3名(他職員はオンデマンドで視聴)
- ② 職員相互交流研修の参加：1名(2回)
- ③ 係長・主任研修の参加：1名(4回)

5) 事業所間合同防災訓練について

- 「法人合同防災訓練」の実施：3月11日(再掲)

6) 障害者虐待防止について

- 障害者虐待防止と身体拘束の理解についての内部研修の実施：1回

7) 個人情報セキュリティ研修について

- ① 仙台市個人情報セキュリティ研修の参加：1名
- ② 個人情報の取扱い及び情報セキュリティについての内部研修実施：1回

8) 感染予防について

- 法人感染対策委員会(全体会)の参加：2月26日

9) 職員定期健康診断について

- 定期健康診断の実施：各職員1回

10) 安全衛生対策について

- KY活動の実施：毎朝